

約 200 名参加の「共創」ワークショップ 舞台芸術公園で初開催

演劇創作のプロセスを活かし、「START CAMP 2026 in SHIZUOKA」静岡体験プログラムを担当

プレス関係各位

SPAC-静岡県舞台芸術センターは、2026 年 7 月 24 日(金)、事業共創カンファレンス「START CAMP 2026 in SHIZUOKA」の静岡体験プログラムとして、約 200 名が参加する「共創」ワークショップを実施します。

「START CAMP」は、大手企業、スタートアップ、自治体、NPO など多様な分野で活動する参加者が全国から集まり、社会課題の解決に向けた事業共創プロジェクトを生み出すことを目的とした合宿型カンファレンスです。今年は「TECH BEAT Shizuoka」会期中に当たる 7 月 23 日(木)・24 日(金)にグランシップを主会場に開催され、開催地ならではの企画として、SPAC が「静岡体験プログラム」を担当します。

今回 SPAC が実施するワークショップのテーマは、「“はじまりの場所”の音楽をつくる」。

START CAMP のテーマである「共創」を、参加者自らが身体を使って体験することを目的に、約 200 名の参加者が 4 つのグループに分かれ、コミュニケーションワークとハンドクラッピングによる音楽セッションを通して、初対面同士でひとつの表現を創り上げます。

ディレクションは、SPAC のアーティスティック・ディレクター石神夏希、音楽は棚川寛子が担当。SPAC の俳優 11 名がファシリテーターとして参加し、演劇の創作現場で培ってきた身体を通じたコミュニケーションや、他者と共に作品を立ち上げる経験値を生かしながら、参加者をリードします。

会場となる静岡県舞台芸術公園は、SPAC の活動拠点であり、野外劇場をはじめとする大小の劇場や稽古場を備えた国内でも稀有な舞台芸術施設です。本ワークショップを舞台芸術公園で実施することで、参加者には作品鑑賞だけでは伝わらない、演劇が生まれる現場そのものも体感いただけます。

SPAC ではこれまでも教育や福祉の現場をはじめ、多彩なアウトリーチ活動を展開してきました。本事業は、設立 30 周年を経て演劇創作で培ってきた知見を、企業・自治体・スタートアップなど異分野との共創に生かす新たな取り組みです。つきましては、ぜひご取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

「START CAMP 2026 in SHIZUOKA」静岡体験プログラム

ワークショップ

“はじまりの場所”の音楽をつくる

ディレクター:石神夏希 / 音楽・ファシリテーター:棚川寛子

ファシリテーター:春日井一平、館野百代、山崎皓司

大内智美、蔭山ひさ枝、河村若菜、貴島豪、武石守正、三島景太、吉見亮、若宮羊市

■日 時:2026 年 7 月 24 日(金) 8:30~10:00

■会 場:静岡県舞台芸術公園

野外劇場「有度」、屋内ホール「楢円堂」、稽古場棟「BOX シアター」、稽古場 1

■参加者数:約 200 名

■内 容:参加者を4グループ分け、グループごとに、身体を使ったコミュニケーションワークで頭と身体をほぐした後、ハンドクラッピングによるセッションを行います。

「START CAMP」主催:IMA 株式会社 / 「静岡体験プログラム」企画制作:SPAC-静岡県舞台芸術センター

「START CAMP 2026 in SHIZUOKA」
全体のタイムテーブルほか詳細は、
下記公式サイトをご確認ください。



同時開催の「TECH BEAT Shizuoka」にて、7/23(木)、宮城聰演出『オセロー』を TECH BEAT 参加企業向けに特別上演します。
本公演のゲネプロを 7/22(水)16:00-17:00 静岡芸術劇場 で行います。

START CAMP 参加者(一部)もゲネプロを観劇予定です。プレスの皆様もゲネプロをご覧いただけますので、参加をご検討ください。